

製品名: ATG10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82313**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25.3kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG10
別名	APG10; APG10L; pp12616
遺伝子 ID	83734.0
SwissProt ID	Q9H0Y0
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG10 (AA: 1-125) の精製された組み換え断片。

背景

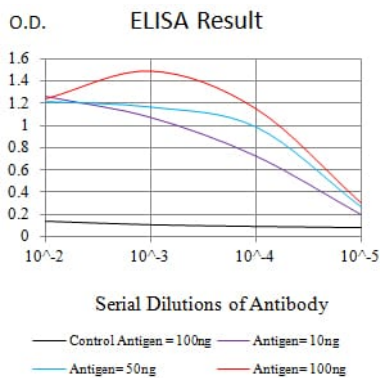
オートファジーは、リソソームによる細胞質コンパートメントのバルク分解プロセスです。ATG10 は E2 様酵素であり、オートファゴソーム形成に必須の 2 つのユビキチン様修飾に関与しています。ATG12 (MIM 609608) と ATG5 (MIM 604261) は、酵母 Apg8

のホモログである MAP-LC3 (MAP1LC3A; MIM 601242) の可溶性型を膜結合型へと修飾します (Nemoto et al., 2003 [PubMed 12890687]) 。

研究分野

オートファジー

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)